

令和6年度 学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業
地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進

大館市 障がい者の生涯学習推進事業 事業報告書



令和7年3月
秋田県大館市教育委員会

多くの伴走者に囲まれて

大館市生涯学習連携協議会 会長 櫻庭 直
(北教育事務所 主任社会教育主事)

大館市障がい者の生涯学習推進事業の4年目が終了しました。本事業に御尽力いただきました協議会委員の皆様をはじめ、ボランティア及び関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

最近、「伴走支援」や「伴走型支援」という言葉を耳にすることがあります。私自身、この言葉を聞くと、思い出す出来事があります。今の私からは想像できないかもしれません、10年ほど前、秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソンに出場し、完走したことがあります。そのマラソンのレース終盤、80km過ぎでのことです。ゆっくりではあるものの、スタートから走り続けていた私は、疲労と膝の痛みから心が折れそうになり、「棄権」という言葉が頭をよぎりました。すると、「がんばっていこう」「まだまだいけるよ」と、軽快な声で私を励ましながら抜き去っていく二人のランナーがいました。「元気だなあ」と思ったものの、二人ともどこかぎこちない走り方をしていました。よく見ると、二人は一本のロープを手に握りしめながら走っていたのです。そして、一人の背中には「伴走」の文字が。そして、もう一人の背中には「視覚障害」の文字がありました。あまりの衝撃に、持っていた携帯電話で撮ったのが右の写真です。二人から走り続ける勇気をいただき、私は完走することができました。



本事業の特徴の一つとして、市内の多くの機関・団体等と連携・協働して事業を行っていることが挙げられます。障がい者の関係施設・団体や生涯学習・社会教育の関係者だけでなく、福祉関係者やスポーツ団体、高等学校など多くの方の支援があります。その関わっている方々は、障がいのある方にとっての伴走者と言えるのではないでしょうか。今年度はこの伴走者がこれまで以上に増えたように感じます。公民館講座で行われる障がい者の生涯学習講座では、毎回、数名のボランティアの方々が一緒に活動しながら障がいのある方を伴走してくれています。このボランティアの方々は、大館市福祉課等で実施している障がい者サポーター養成講座を受講した「障がい者サポーター」です。また、「第2回なんでも発表会」の際には、この障がい者サポーターに加え、多くの高校生もボランティアスタッフとして一緒に活動してくれました。比内支援学校の多大なる御協力にも感謝・感激でした。障がいのある方を伴走してくれる人がとても多くなり、本事業の活性化や活動に幅が出たことをうれしく感じます。何より一番うれしく感じているのは、多くの伴走者に囲まれて活動することができる障がいのある方ではないでしょうか。

本事業のこれまで4年間の大きな成果として、このような伴走者が増えたことを含め、大館市全体に「障がい者の生涯学習」という言葉が浸透してきたことが挙げられると思います。第8次大館市社会教育中期計画（令和6年度～令和9年度）においても、障がい者の生涯学習の推進・拡大が明記されました。まだまだ広がりが期待できる事業であると考えられます。本報告書を御一読の上、よりよい事業の在り方等について前向きな意見をいただくとともに、来年度以降、より多くの伴走者が増えることを願っています。

目 次

○ 「多くの伴走者に囲まれて」	1
大館市生涯学習連携協議会 会長 櫻庭 直 (秋田県教育庁北教育事務所 主任社会教育主事)	
目 次	2
○事業計画.....	3
目的・事業概要	4
事業内容	
(1) 生涯学習プログラムの開発・実施	
(2) コーディネーターの活動及びボランティアの育成	
(3) 見込まれる成果・効果	
大館市「障がい者の生涯学習」推進事業（ポンチ絵）	9
○連携協議会	11
・大館市生涯学習連携協議会 第1回～第3回会議録	
・「♪ 縦の糸はあなた 横の糸は私 ♪」	
コーディネーター 佐藤 正好	
○各講座の報告・成果と課題・来年度事業実施（案）	29
・令和6年度 障がい者の生涯学習講座の実績	
・講座実施報告書	
・今年度の成果と課題、来年度の事業実施について	
○資料	53
○編集後記	62

○事業計画

地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進

事業名：大館市「障がい者の生涯学習」推進事業

《事業計画》

○目的

学校卒業後における社会教育施設を活用した生涯学習機会の拡大促進及び地域連携による持続可能な学びの支援に関する実践研究

障がい者が求める生涯学習講座の展開と市民（支援者）には、障がい者との交流する機会を提供することで相互理解を深め、心のバリアフリーや合理的配慮を学び、共生社会の実践へつなげる。

○事業概要

◇連携協議会活動の充実

★年3回の連携協議会の開催

★連携協議会協力団体〈目標19団体 ※R5同数〉

◇障がい者のニーズ調査と講座企画への反映

★比内支援学校青年学級及び就労施設との連携による聞き取り調査等を行い、今年度の講座内容へ組み入れる。

◇生涯学習講座の展開と実践発表

★1回の講座開催に複数の内容を組み入れ、参加者が選択できるようにする。

★市が推進するボッチャ体験を組み入れ、今後の交流体験へつなげる。

★オンライン配信の実施の可能性を調査する。

★障がい者の文化活動を発表する場を創出し、共生社会への理解へつなげる。

◇支援者（高校生、学生、市民）の育成

★生涯学習講座における相互交流の場を創出し、一緒に体験する機会とすることで理解を深める。

◇福祉部門との事業連携

福祉部門で実施している「障害者サポーター養成講座」との連携を行い、受講者が本事業における生涯学習講座へ参加する仕組みを作る。

○事業内容

（1）生涯学習プログラムの開発・実施

- ・生涯学習連携協議会の開催 年3回

◇R6年度連携協議会委員委嘱に係る事務手続き（5年度と同数の19団体を目標）

◇第1回連携協議会 ①日時、会場 7月17日（水）15:00～16:30 比内公民館

②案件 ・委嘱状交付

・R6年度の事業計画について

◇第2回連携協議会 ①日時、会場 11月7日（木） 15:00～16:30 上川沿公民館

②案件 • 障害者の生涯学習講座の進捗状況と課題について

• 今後の講座の実施について

◇第3回連携協議会 ①日時、会場 2月12日（水） 15:00～16:30 比内公民館

②案件 • 障がい者の生涯学習講座の実績について

• 事業報告書作成について

• 今年度の成果と課題、来年度の事業実施について

• 障害者のニーズ調査と分析

◇対象者 講座の参加者

◇調査方法 聞き取り内容を決めておき、各講座開催時に時間を設けて聞き取り、ニーズ調査を行う。

◇分析方法 聞き取りから得られた情報の分析

◆本事業開始前に、比内支援学校青年学級や就労施設での聞き取りを実施し、講座内容へ映させる。また、運営への協力を仰ぐ。

• 障がい者の生涯学習講座の開催

8月 クレープづくり＆音楽で遊ぼう

9月 木育＆ボッチャ講座

10月 ミニアメリカンドック＆ニュースポーツ

11月 比内支援学校青年学級

12月 そば打ち講座

1月 なんでも発表会

2月 スイーツづくり＆音楽で遊ぼう

• 障がい者の活動を広げる取り組み

施設名	事業名	備考
栗盛記念図書館	図書館利用支援事業	比内支援学校との連携
スポーツ振興課 スポーツコミッショングループ スポーツ協会	はちくんオープン	パラスポーツの普及と交流 学生ボランティア登録と支援
障害者自立・差別解消支援協議会	みんなでスポーツの会	高校生ボランティアとの交流
少年自然の家	出前講座の活用	防災教育等

・公民館の取り組み

◇スポーツクラブひないと連携

開催期間	事業内容	備考
10月14日（月） スポーツの日	比内公民館ボッチャ交流会 の開催	

◇比内支援学校との連携

開催日	事業内容	備考
年3回	高等部生徒によるカフェの出店	高齢者学級「青空学園」
11月	比内芸術文化祭での軽食の提供	お汁粉

◇障がい者福祉サービス施設との連携

開催期間	事業内容	備考
8月～3月	とっと工房アートギャラリー展	地区公民館等巡回

・支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催

開催日	事業名	備考
11月21日	障がい者サポーター養成講座	福祉課、障害者自立・差別 解消支援協議会との連携

・秋田県との事業連携

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会への参加
(12月26日オンライン参加)

★先進地視察

連携協議会委員とボランティア養成講座への参加者を対象とし、秋田県のパイロット事業を視察する。(候補)能代市立中央公民館

・講座の周知方法（継続）

- ◇連携協議会委員所属の団体へのチラシの配布
- ◇市ホームページ及び市広報への掲載
- ◇地元紙への記事掲載
- ◇比内支援学校を通じた卒業生へのチラシの送付
- ◇市内大型店舗への掲載

・障がい者の声を活かした講座展開

- ◇比内支援学校青年学級及び就労施設での聞き取り
- ◇講座終了後の参加者への聞き取り

- ・成果報告及び普及活動

- ◇生涯学習講座の成果発表会の開催
- ◇事業報告を市ホームページへ掲載
- ◇比内支援学校高等部生徒及び保護者への事業普及活動
- ◇事業報告書（印刷物、記録動画）の作成及び配布

（2）コーディネーターの活動及びボランティアの育成

- ◇スケジュール

4月	
5月	
6月	コーディネーターとの事業実施に向けた打ち合わせ
7月	第1回連携協議会への参加、連携協議会への提案及び各講座へのアドバイス
8月	
9月	
10月	
11月	第2回連携協議会への参加
12月	
1月	事業報告書の作成協力
2月	第3回連携協議会への参加
3月	

（3）本事業実施により得られると見込まれる成果・効果

- ◇アウトプット

- ★連携協議会協力団体（目標19団体 ※R5比較同数）
- ★障がい者への聞き取りにより決定した生涯学習講座を1回の講座で数種類を実施し、参加体験の機会を増やす。
- ★オンライン配信の実施の可能性についての継続調査
- ★先進地の活動情報による障がい者の生涯学習の理解者の育成（15名）
- ★先進地の活動情報による事業連携拡大の方策を検討
- ★講座の開催（目標：月1回 計7回、参加人数延べ250人）
- ★広報による講座周知及びチラシの配付とネットによる情報発信
- ★継続希望する講座を持続可能にするための研究
- ★ボランティア養成講座受講者等への生涯学習講座への参加を募り、障害理解を促進させる。（目標1講座2名）
- ★障がい者の文化活動を発表する場を提供する。

◇アウトカム（中長期的）

- ★障がい者が継続的に必要としている講座の充実及び支援者の理解と育成
- ★社会教育施設で継続できる講座の把握及び事業連携の拡大による生涯学習機会の拡大促進
- ★障がい者の生涯学習事業を継続的に実施できる社会教育施設（5施設）
- ★障がい者の活動を広げる取り組み〈参加述べ人数300人〉

◇本事業における得られた成果の活用策又は見通し

- ★成果を参考に社会教育施設での自主事業として継続的に実施する。
- ★成果を社会教育施設でのサークル活動として活用する。
- ★障がい者が自分なりの生涯学習活動を実践し、その成果を発表する機会を創出すると共に、集う支援者と交流することで、持続可能な関係を構築し、相互に共生社会の実現へつなげる。
- ★成果を障がい者が合理的配慮を受けながら、学び続けられる共生社会の構築につなげる。

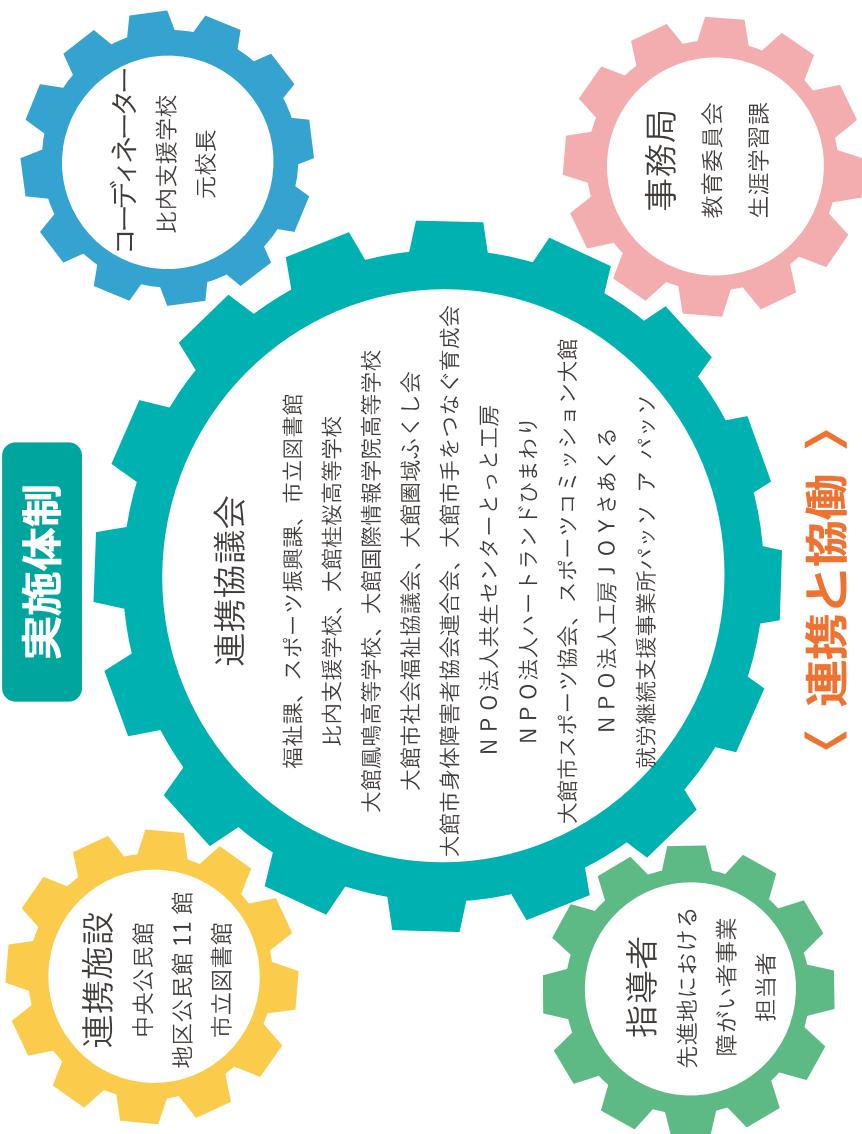
令和6年度

大館市「障がい者の生涯学習」推進事業

背景

- ◆第8次大館市社会教育中期計画（令和6年度～令和9年度）重点施策
- 障がい者の生涯学習の推進・拡大
- ◆先導的共生社会ホストタウンの認定（令和2年12月25日認定）
- 各種計画との連携によるバリアフリーまちづくりなど

実施体制



目的

- 学校卒業後における障がい者の生涯学習機会の拡大促進
- 地域連携による持続可能な学びの支援に関する実践研究

令和6年度 事業概要



⑥大館市

- 連携協議会活動の開催及び充実（年3回）
- 障がい者のニーズ調査と講座企画の反映
- 社会教育施設における講座等の展開と実践発表
- 支援者の育成 ●福祉部門との事業連携
- 市民への情報提供 ●持続可能な活動の実践研究



今後の方針性（令和7年度以降）

- 障がい者が生涯学習に取り組める環境、支援体制の構築
- 参加者への聞き取りによる講座の充実
- ボランティア養成講座の実施及び障がい理解の交流促進
- 市民への情報提供の継続 ●福祉部門との事業連携

＜連携と協働＞

別添A-2（別紙1）取組概要 地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進

寸体名 所在地：秋田県大館市

○連携協議会

令和6年度 生涯学習連携協議会開催実績

回数	開催日/場所	活動内容	活動内容
1	7/17 (水) 15:00～16：30 比内公民館	第1回連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> 1. 委嘱状交付 2. 教育長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長及び副会長の互選について 5. 協議 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度事業計画について 6. その他 <p>☆出席者数：22人 (委員15人、コーディネーター1人、連携施設3人、事務局3人)</p>
2	11/7 (木) 15:00～16：30 上川沿公民館	第2回連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 障害者の生涯学習講座の進捗状況と課題について (2) 今後の講座の実施について (3) その他 <p>☆出席者数：21人 (委員14人、コーディネーター1人、連携施設4人、事務局3人)</p>
3	2/12 (水) 15:00～16：30 比内公民館	第3回連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 障がい者の生涯学習講座の実績について (2) 実績報告書の作成について (3) 今年度の成果と課題、来年度の事業実施について 3. その他 <p>☆出席者数：21人 (委員13人、コーディネーター1人、連携施設4人、事務局3人)</p>

令和6年度 第1回大館市生涯学習連携協議会 会議録

令和6年7月17日（水）

15時～16時30分

比内公民館第3・4研修室

1. 委嘱状交付

2. 教育長あいさつ 高橋 善之 教育長

3. 委員紹介

4. 会長及び副会長の互選

会長：秋田県教育庁北教育事務所 主任社会教育主事 櫻庭 直 氏

副会長：大館市社会福祉協議会 事務局次長 佐藤 美紀子 氏

をそれぞれ再選した。

5. 協議

（1）令和6年度事業計画について

櫻庭会長

今年度の事業計画について、事務局より説明してください。

嶋田係長

今年度の事業計画案等を説明

1. 目的
2. 大館市生涯学習連携協議会の設置
3. 連携協議会の開催（予定）
4. 障がい者の生涯学習講座の開催
5. 支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催
6. 講座の周知方法（継続）
7. 障がい者の声を活かした講座展開
8. 成果報告及び普及活動
9. その他

☆障がい者の活動を広げる取り組み

坂上委員

図書館利用支援事業として防災・減災に関する学習を比内支援学校と連携して対応

工藤委員

はちくんオープン（ボッチャ交流会）11月23日（土）、24日（日）開催予定。
市広報8月号に掲載し告知予定

佐々木委員

みんなでスポーツの会 9月、11月開催予定で、種目はアキュラシー、ボッチャを行う予定。参加者は、矢立育成園、白沢通園センター20名程度

佐藤委員

防災教育関連等の出前講座の事例などを説明

☆支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催について

桜庭委員

8月2日（金）開催予定の障がい者サポーター養成講座の内容について説明

☆学校関係者より関連する取組について

銭谷委員

ボランティアは、社会部が中心でまちづくりに関わる部分が主たるもの。1年生が主要メンバーとなっている。

中田委員

比内支援学校高等部1年との交流及び共同学習を実施している。同じ地区で学ぶ同年代の高校生として、互いの親睦を深め、互いを正しく理解すること。レクリエーションや制作活動において、互いに協力し、進んで参加することで経験を広げ、支え合う気持ちを育むことを目的としている。活動内容としては、ボッチャを通じた交流。制作活動として、バラまつり立て看板のレイアウト案の作成、木製タグの製作等を行っている。

奈良委員

インタークト部を中心に行っている。ボランティアとして田植えなどを行っている。

杉森委員（比内支援学校伊藤委員代理）

青年学級年4回実施。生涯学習課畠山課長にも参加していただき、活動内容を確認していただいた。陶芸講座を開催する予定。

☆障がい者施設、その他参加団体関係者より

菊地委員

昨年は、中央公民館、地区公民館などの施設へ展示させていただいた。他の施設の方も作品はあると思う。今年はもっと活動を広げていければと考えている。8月に栗盛記念図書館へ展示の声をかけていただいた。とてもありがたい。

毎年のことであるが、移動手段がない方もいる。障がい者の活動はほんの一部の方しか参加していない。この方々を如何にして参加させるのか課題である。また、事業所の活動として、職員が不足している。この部分を支援していくのも課題となっている。

鈴木委員

昨年のなんでも発表会は大変盛り上がった。虎視眈々と今年度トロフィーをねらっている。同じく職員が不足している。桂桜高校の野球部との交流、活動を知っていたく機会を作り、活動を知っていただき、もっと地域とのつながりができればよい。

佐藤委員

子ども食堂、学校の方から協力していただいた。

「なんでも発表会」は参加者が生き生きしていたのが印象的であった。今年度も是非参加したい。

藤田委員

地域の方々から支えられ、運営している。各種講座等協力していきたい。

佐藤コーディネーター

なんでも発表会を中ホールで行った。全国に発表会が数多くあるが、のど自慢形式で行っているのは、ここ大館市だけだと思う。共生社会に向けて今後10年間は継続する必要ある。

文科省からの委託を受けて、3年目は「展げる」をテーマとし、事業の展開を図ることができた。4年目は立体的な3Dのようなイメージで立ち上げる、吸い上げる、上に向かって事業を充実させていければと考えている。

参加したくても、参加できない人をどうするのかが課題となっている。私は、この事業は100%でなくてもいい事業と思っている。参加したくとも参加できない人の対応をしていかなくてはならないのではと考える。障害のある方が選びながら、講座に参加して下さればいいと思う。講座の中で一緒に楽しみながら一緒に考えていく必要があると思う。この辺も今後協議していきたい。委員の皆様のご協力をお願いする。

令和6年度 第2回大館市生涯学習連携協議会 会議録

令和6年11月7日（木）

15時～16時30分

上川沿公民館第2研修室

1. 会長あいさつ

市スポーツ振興課のボッチャ交流会（釧路内小学校）での取り組みについて、NHKの番組で報道されているとの紹介があった。連携協議会のメンバーであり今後とも様々な取り組みを充実させる必要がある。連携を深めていきたい。

2. 報告

（1）障がい者の生涯学習講座の進捗状況と課題について（2）今後の講座の実施について、関連がありますので一括で説明

①障がい者の生涯学習講座

畠山課長

これまでの講座内容、今後の取り組みについて説明

山田主事

なんでも発表会の開催に伴う要項などを説明

②障がい者の活動を広げる取り組み

○図書館利用促進事業 P 4 参照

羽沢課長補佐

中学部3年生対象

参考図書のほか、持ち帰り可能な炊き出しレシピや非常時に必要な持ち物、リストの作成、上の写真は、栗原記念図書館へ展示した状況。8月19日～9月27日の期間展示している。中段の写真は、非常用持ち出しリスト、炊き出しレシピの写真で、一番下の写真は、北鹿新聞 9月5日に掲載された記事。非常用持ち出しリストと炊き出しレシピは大変好評で、すぐに利用者が持ち帰りなくなつたとの報告があった。

○はちくんオープン

工藤委員

第1回目の連携協議会で参加協力をお願いしたところ、比内支援学校からも参加があり、200名弱の参加となった。13名のボランティアの協力もあり、パリパラリンピックに出場した選手のエキシビジョンマッチなども予定している。見学は無料なので、来場していただきたい。

○みんなでスポーツの会 矢立育成園体育館で開催

佐々木委員

みんなでスポーツの会アキュラシーを実施した。第2回目として11月19日を予定している。

③公民館の取り組み

根本係長

○スポーツクラブひないとの連携

ボッチャ交流会は当初 11月9日（土）に予定していたが、参加者が少なく1月に延期した。

○比内支援学校との連携

比内支援学校50周年記念事業があり、対応できなかつたため、こちらも延期し対応する。

○障がい者福祉サービス施設との連携

1月26日まではみんなのアート展の予定があるが、残る長木公民館、上川沿公民館では日程調整して対応する。

④支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催

桜庭委員

障がい者サポーター養成講座の開催状況について説明があった。また、11月24日デフリンピックをPRするイベントの説明があった。

◇秋田県との事業連携

羽沢課長補佐

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会への参加

大館市で取り組んでいる障がい者の生涯学習事業をPRする機会となつたため、参加することとした。嶋田係長、山田主事が参加予定

(課題については、口頭で)

●現状と課題

参加者は、講座に家族や一般参加者とともに楽しみながら参加している。各講座へのリピーターが徐々に増加し、障がい者や家族の方々が気軽に各種講座に参加することにより、それを支えるボランティアの方々の「合理的配慮」への意識も高まり、社会参加の一歩となるものと考えている。

このように、参加してどのような成果が出ているのかをPRしていくことが必要だと認識している。

『質疑・応答の内容』

堀口委員

みんなのアート展についてハートランドひまわりからも参加したい方がいる。

一関主任

是非、中央公民館での展示をお願いしたい。比内公民館での展示もお願いしたい。

菊地委員

とっと工房では、土・日の参加は難しい。また、とっと工房の講座参加者の情報がほしい。参加者の激励のため。

羽沢課長補佐

後日連絡する。

鈴木委員

1月19日に小規模作業所の交流会がある。ニュースポーツの交流会で毎年持ち回りで行っている。

障がい者のアートは悩ましいところがあって、本人にとっては作業療法的なものとなっている。双子の兄弟が盛岡でアートをやっている。佐々木ひでおさんの展示等どのようにとらえたらよいのか。

菊地委員

とっと工房では商品化したいと考えている。ただ、全ての作品が商品化できるのかとなると難しいと思われる。

一関主任

この事業では、商品化までは求めていない。生涯学習、社会教育の視点から、レベルの問題ではなく、みんなの努力の成果をみていただけるような展示としたい。このため、みんなのアート展としている。

佐藤コーディネーター

今年4年目に入り、中だるみしているかもしれない。

今後は、気を引き締めて取り組んでいきたい。現在なんでも発表会の件で、当日の役割分担など進めているが、12月中にもう一度、打ち合わせをしていきたい。日にちが決まり次第通知することとし、当日参加できる方だけでいいので、是非お願いしたい。

3. その他

○次回第3回日程

2月12日（水）15時から会場は比内公民館。第3回では、このあとの講座の開催状況と事業報告書作成案を提案したいと考えている。

○北鹿地区社会教育関係委員等研修会開催の報告

鹿角市、小坂町、北秋田市、上小阿仁村、大館市の社会教育委員、公民館運営審議委員、生涯学習奨励員等の研修会で毎年持ち回りで開催しており、令和6年度は大館市が当番で、10月9日中央公民館を会場に開催された。講師には、佐藤正好先生をお願いし、演題を大館市障がい者の生涯学習推進事業『今、大館がお・も・し・ろ・い』とし、50人の参加があった。大館市の取組をPRするよい機会となった。参加した鹿角市の担当者からも前向きに取り組みたいとの意向もあり、県生涯学習課へ事業の報告をしたところ、この活動を全県に紹介したいとの申し出があった。

令和6年度 第3回大館市生涯学習連携協議会 会議録

令和7年2月12日（水）

15時～16時30分

比内公民館第3・4研修室

1. 会長あいさつ

若い頃100キロチャレンジマラソンに出場し、80キロ付近で視覚障害者から声をかけられた。心が折れそうな時に、目が見えない方から声をかけられ元気をいただき完走できた。（声がけしていただいた障がい者と伴走者が映った写真を見せながら説明）

大館市の障がい者の生涯学習事業の取り組みは、みなさんが連携した取り組みを行っており大変すばらしいことである。最近、伴走型支援をよく耳にする。皆さんは伴走者で、公民館で行っている講座、なんでも発表会などで、一般ボランティア、高校生ボランティア、比内支援学校の皆さんのが協力して行っている。4年目を迎える、障がい者の生涯学習事業が広まってきている。これからも支援・伴走ができるよう本日の会議はいろんな話を出していただきたい。

2. 報告

（1）障害者の生涯学習講座の実績について

嶋田係長

○生涯学習講座の実績について説明

7講座中6講座実施。1講座は参加者少なく中止とした。

○障がい者の活動を広げる取り組み

みんなのスポーツの会、はちくんオープン、ボッチャ交流大会（比内公民館実施）

○社会教育施設の取り組み

みんなのアート展 田代公民館ほか5施設で実施

→ 文化祭、とりの市など既存の事業の中で開催

・比内公民館と比内支援学校との事業連携

→ 新春書初め会

○障がい者サポーター養成講座

72人参加、うち22人から同意書

○障がい者の活動を広げる取り組み

坂上委員

図書館利用支援事業で比内支援学校が持ち帰り可能な炊き出しレシピ、非常用持ち出しリストの作成をし展示了。

その他、比内支援学校との連携した絵本の貸出、校外学習活動等の事業を紹介

した。

○比内公民館の取り組み

根本係長

とっと工房アート展、新春書初め会で書初めするための秋田杉の杉板を利用した習字の木製の板の制作について説明があった。高校生、一般の方を対象とし、1月いっぱい公民館などに展示した。

《質疑・応答》

藤田委員

1回講座に参加した方が、この後も参加したかったが、開催日が分からなかった。もう少し周知をしてほしい。

嶋田係長

1回目は直前になっての周知となった。周知が上手くいかなかった。今後はSNSの活用も考えていきたい。

伊藤委員

4月に1年間の予定表をいただき周知している、2月9日には小学部の児童が参加していると思うが、その際には校務システムで保護者に周知した。

嶋田係長

2月9日は小学部の児童が参加していただいた。講師の先生の紹介でも参加していただいた。年間のスケジュール、QRコードなどでも申し込みできるようにしている。

櫻庭会長

子どもたちが参加しており、共生社会につながっている。小学生が参加していいのか、不安になると思うので、対象年齢などを明記する必要があると思う。

櫻庭会長

先ほどの報告についてご質問があればあとでお願いする。

(2) 実績報告書の作成について

嶋田係長

実績報告書の記載内容、日程などを説明。今月いっぱいを目途に完成。

(3) 今年度の成果と課題、来年度の事業実施について

畠山課長

☆令和6年度 研究の成果と課題

《成果》

○障がい者のニーズ調査と講座企画の反映

- ・就労施設及び比内支援学校青年学級に対し、ニーズ調査を実施し、講座企画へ反映させることができた。

○生涯学習開催講座

- ・活動を通じて、参加者と講師、協力職員との会話による交流や調理器具の共用による協力を自然に行い、皆で楽しむことができた。
- ・職員や講座の参加者とハイタッチやコミュニケーションすることにより交流も生まれている。
- ・数名であるが、一般の方も参加しており、障がい者との交流も生まれている。
- ・サポーター養成講座参加者も講座へ参加し、支援していただいた。
- ・参加者の中には、積極的に体験しない方もいたため、声掛けして参加を促した。強制的にならないよう配慮することが気を遣うところと感じた。

○なんでも発表会の開催

- ・参加者にとって、1つの目標にもなってきている。令和5年度「なんでも発表会」の終了時点で参加の意思を示す参加者もあり、令和6年度の開催に期待を寄せていた。
- ・第2回目となった「何でも発表会」は、手作り感満載の「のど自慢」といった形のイベントとして、成功裏に終わった。参加者から「充実した機会となった。緊張したけど、みんなの前で歌えて楽しかった。」などの声があった。
- ・司会・進行、協力スタッフ、審査員は、連携協議会の関係者、サポーター養成講座の参加者、これまで関わった方、高校生ボランティアなど、多くの方が協力して下さっており、参加者との交流もあり、共生社会への構築につながっている。
- ・なんでも発表会の参加者からの相談が、直接電話で生涯学習課へくるようになったこと。生涯学習課職員と積極的にコミュニケーションをとるようになった。昨年度までは見られなかったことである。
- ・参加者はこの日のために練習を重ねている。緊張している中で、頑張って披露できしたこと。練習の成果を發揮したことに満足した表情がうかがえた。審査員からは、「みんなの頑張っている姿を見て逆に元気をもらった。」という意見や観覧している方々もペンライトや応援グッズを持ち寄り応援する姿も見受けられ、会場を盛り上げていた。

○比内公民館の取り組み

- ・障がい者福祉サービス施設との連携による「みんなのアート展」の開催
→ 11月9日～3月3日 中央公民館・地区公民館での巡回展開催（6施設）

→ 大館市内で広く作品の発表の場を設けることができた。参加者の自信へつながる取り組みとなつた。

○障がい者の活動を広げる取り組み

- ・栗盛記念図書館と比内支援学校との連携
- ・パラスポーツの普及と交流
- ・みんなでスポーツの会開催

○障がい者サポーター養成講座の共催

- ・福祉部門（大館市障害者自立・差別解消支援協議会）との連携による開催

8月2日（金）中央公民館 72人参加（うち22人から同意書）

→ 受講者より生涯学習講座情報の提供同意書を得ることができた。

→ ボランティアとして各講座チラシ等の案内送付

○「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会

- ・大館市より2人の職員が参加し、大館市の障がい者生涯学習事業の取り組みを紹介する機会を得られた。

→ 参加者からの反応、成果等

・「なんでも発表会」への参加意思（北秋田市在住者）

・他団体との交流、今後の事業連携のつながり

《課題》

○講座参加者同士のつながりの構築

→ 参加者同士を支援者（サポーター）が交流の糸口を作る。

なんでも発表会の参加を通じて、リピーターを増やしていく。

→ なんでも発表会には、比内支援学校の中高生が参加しており、今後の活動にどのようにつなげていけるかが、課題となっている。

→ 講座の参加に障害のない方にも一緒に参加してもらう取り組み

中央公民館、地区公民館の講座に障がい者も入れ、講座を開催する。

○社会教育施設における障がい者が参加できる講座企画

→ 中央公民館、地区公民館との連携強化

○障がい者サポート養成講座受講者中、生涯学習講座の情報提供についての同意書提出者が講座へ参加する取り組みを今後も継続していきたい。

→ 情報提供の継続的発信。サポートだけでなく、一緒に活動する体験を通じ、障害の理解につなげる。

→ サポーターは今年度講座参加者7人、高校生7人の参加があった。

※ 徐々にではあるが、各講座、なんでも発表会に参加している。この部分は、継続して拡大させることも考慮していく。

☆令和7年度 事業実施について

《今後の見通し》

- ・障害福祉事業と連携することができていることから、継続して関わることで事業の継続性や拡大推進が図られると考える。
- ・生涯学習事業を、中央公民館をはじめとした公民館事業につなげ、各地区に居住する障がい者が公民館を気軽に利用できる、つながる活動に展開していくことで共生社会の実現につなげることができる。
- ・社会教育施設及び文化施設を活用して、障がい者が生涯学習に参加する取り組みは継続できている。今後は、障がい者が自発的に取り組むもの、学びとして必要と思われるものを提案して、声を生かすために必要な信頼関係を構築しながら、官民協働により持続可能な方策を図り事業を展開する。
- ・障がい者が住みやすいまちづくりは、誰にとっても住みやすいまちと考えるため、本事業を通じて共生社会の実現に寄与できると考える。
- ・地域連携コンソーシアムの開催（秋田県との連携）、コンファレンスを実施（北秋田市、能代市と連携した実践発表会等）
→ R7年度都道府県のリーダーシップ、普及啓発、他分野等へ広げるため

《感想》

桜庭委員

「なんでも発表会」の感想。審査委員で参加した。素晴らしい企画で、楽しませていただいた。障害福祉の担当をしており、業務上出場者の名前を見ることがあり、この子がこのような発表をするのかと思いながら、パフォーマンスを拝見した。2部構成になっており、みんなで歌っているのにつられ自分でも楽しく歌っていた。楽しめていただいた。これが本来あるべき姿だと思う。今後も福祉部門と連携して事業を継続していただきたい。

佐藤委員

なんでも発表会の感想であるが、1回目は非常に緊張していたが、2回目参加し緊張がほぐれてみんな楽しくやっていた。2回目は歌のほか手品もあり楽しかった。

佐々木委員

講座に障がい者のある方が参加していただくことが非常に大切なこと。共生社会の実現という目標があるので、いろんな事業とコラボして活動していかなければと思う。

藤田委員

いろんな種類の講座があればと思う。参加する選択肢が増えるため。今後も継続していただきたい。

堀口委員

もう一つ新しい展開があればと思う。主体は誰、脇役は誰かわからなくなってきている。

鈴木委員

なんでも発表会は審査委員として参加した。○をつけた方が表彰されてよかったです。今年度コロナが5類になってから、うちの場合は、本人がかからっていないが、家族がコロナにかかり、なかなか参加できなかった。3人から4人くらいは不参加であった。冬場の開催どうなのかというのもある。また、卒業してから交流がなくなっている。是非、なんでも発表会は継続してほしい。また、青空のもとで開催するのもいいのではと思う。

田村委員

定員からするとそこそこ集まっていると思う。集客は大変な作業だと認識している。自分でも集客に苦労している。リピーターの方もいると思うので、DMを使った集客もしてはどうか。

伊藤委員

社会教育施設等と連携して児童・生徒が学ぶ機会を得ている。在籍している児童・生徒たちも参加可能との情報を得ましたので、学校のメールシステムを活用して周知していきたい。子供たちは交通手段が無いことやコミュニケーションすることに不安を感じるため、保護者の同伴となる。このため、早めに周知していただきたい。また、青年学級とのコラボ、ホームページの活用もしていきたい。同窓生、卒業生のラインも始まっているので、その辺も活用していきたい。

坂上委員

共生社会に向けて、障害のある方にとって図書館は使いづらい。施設的には、段差もあり、エレベーターなどはないため、引き続き市へ要望していく。電子図書についても利便性向上に向けて協議していく。

銭谷委員

高校生ボランティアとしてかかわっている。比較的イベントが負担の軽いものであれば参加している。少し抵抗を感じるイベントもある。社会部では関心がある生徒が集まっているので、今後もいろんなお手伝いが出来れば思う。

花岡委員

なんでも発表会は大変あたたかい雰囲気でとても良かった。出場者も満足したので

は。高校生もボランティアとして参加しているが、一般の方の参加もPRしてみてはどうか。高校生の感想の声も広げる必要もある。この件に関しては、大変貴重な体験をさせていただいた。

工藤委員

各講座にはお手伝いはなかなかできなかつた。各高校や支援学校の皆さんには、11月のはちくんオープンで協力していただいた。感謝申し上げたい。

ボッチャを通じて共生社会の実現を目指している。なかなか障がい者と接する機会が少ないため、ボッチャでパラスポーツに取り組んでいる方がいた場合、情報提供願いたい。

また、3月9日のパラアスリート交流会では、車いすを使ったイベントもあるとの情報提供もあった。

佐藤コーディネーター

なんでも発表会は大成功。第2回目は多くのボランティアが集まつていただいた。事前の打ち合わせの時13人の方が参加した。前回は2人だったのでうれしかつた。

文部科学省からの支援で事業を継続しているが、持続可能な事業とするため、今後どのようにするのか検討する必要がある。

NHKのど自慢に観客としていった際に、石田市長と話す機会があつた。若さとパワーを感じた。5回までの開催の間で1回は来てほしい。

支援学校伊藤校長から卒業生の保護者の会の設立があつたという話を聞いた。是非活用していきたい。また、市内小学校の福祉学級の方にもPRしていきたい。関係者からの要望があつた。

櫻庭会長

この後の見通しも見えてきた感じがする。

一関主任

参加者158人、キャパは400人である。なんでも発表会に入場整理券も作つてみてはどうか。足を運ぶきっかけとなる。

みんなのアート展は、1回目はとつと工房のみであつたが、2回目手をつなぐ育成会も参加した。

3回目は、比内支援学校のOBや学生の力も借りながら、やってみてはどうか。できるだけお金をかけないという話もあつたが、PR用のチラシも検討したい。

3. その他

羽沢課長補佐

来年度以降文科省のハードルも高くなっている。次年度の文科省への申請時期が3月に行われる。現在、生涯学習課内で申請内容を検討している。本日各委員の方々の貴重なご意見を反映させながら、資料作りをしていきたい。次年度、人事異動もありどのようになるのか分からぬが、「なんでも発表会」だけは継続できるよう努力していきたい。その際には、またご協力を願いしたい。

櫻庭会長

県では、7年間障がい者の生涯学習を行ってきたが、次年度は、また違った方向で行うようである。予算のこともあり具体的には申し上げられないとは思うが、県教育委員会では、大館市はすごいと。県内でこういった連携協議会を設置して取り組みを行っているのは、大館市だけであるという認識である。12月に文科省の方が秋田市に来た際には、大館市の取り組みを聞いて、全国でも大館市のような取り組みをしている事例は少ないため、いい事例にしたいと注目しているようである。必ず共生社会につながっていくものと思う。

「♪ 縦の糸はあなた 横の糸は私 ♪」

コーディネーター 佐藤 正好

フォーク世代の私には、過日民放で放映された中島みゆきさんの「糸」は、とても新鮮で見入ってしまった。「糸」は、2001年に空前の大ヒットとなり、今でもこの歌は静かなブームを呼んでいる。何といってもタイトルのように歌詞が深く、それでいて曲もスープと入ってくるのである。

さて、今年度の障がい者の生涯学習講座は、生涯学習課の新体制にともないスタート時の遅れで中止した講座もあったが、ミニフランクやそば作り、カラオケやスポーツなど7個の基本講座とボッチャ交流会、ボランティア養成講座などの関連事業13個を開催してきた。中でも「なんでも発表会」が2回目を迎えて大成功で終えたことは大きい。

今年度の成果は多くあるが、私は特に3つを挙げたい。

1つは事務局も新メンバーであるにもかかわらず、課長を中心として四苦八苦しながらも、講座展開を実施してきたことである。本事業は今年度で4年目を迎えるが、全国的にも大館市の事業のレベルは全国の10指に数えられると自負している。予想以上に事業のレベルが高い所に、ポンと置かれた障がい者と接点が少ない担当者の迷いや悩みは、想像以上のものであったと思う。真摯に講座展開を行うなかで、障がい者や保護者等の笑顔が、その悩みを払拭していったと嬉しく思っている。

2つ目は何と言っても「なんでも発表会」の2回目の成功である。物事は1回目は多くの勢いで何とかなるが、難しいのは2回目からの継続である。しかも、2回目は失敗が許されないように加え、新鮮味のある何か変化が求められる。幸いなことに、昨年度の映像を中心としたピアールから、障がいのある方達がイメージをもち、新たな参加者が4割近くになったことが今回の大きな変化であったと思われる。

3つ目は連携協議会のメンバーの意識の変化である。メンバーの方々には、事業理解に留まらず、実際の講座参加や「なんでも発表会」のボランティアをしていただいた。理解プラスアクションである。特に「なんでも発表会」の打ち合わせには、昨年度は会長と事務局と私を除くと2名だけの参加であったが、今年度は12名の参加があった。単純に嬉しかったし、一人テーブルの下で拳を握って感動したことを覚えている。成功の可否は正に推して知るべしであった。

翻って、糸は基本的に縦糸と横糸がある。その紡いだものが布となっていく。それは人と人であったり、人と環境や物であったりする。「糸」の歌詞の後半では「織りなす布はいつか誰かを 暖めうるかも しない」と結んでいます。

4年目を終えた本事業を布で例えると、まだ布の広さはそんなに大きくはなく、質感も荒いものだと思う。毎年少しづつ、多くの誰かを暖めうる確かな布を目指していきたいし、私自身も惜しみない応援をしていきたいと考えている。

○各講座の報告

- ・障がい者の生涯学習事業実績
- ・講座実施報告書

○成果と課題

○来年度事業実施(案)

【生涯学習講座】

No.	開催日	時間	活動場所	講座名	内容	参加者数(人)						
						定員 人 (組)	参加者 人 (組)	うち障 がい者	講師	サポー ター	スタッフ	観客
	8月25日(日)	10:00～12:00	比内公民館	クレーフづくり＆音楽で遊ぼう♪	中止	200円	18人	/	/	/	/	/
1	9月22日(日)	10:00～12:00	下川沿公民館	木育&レクリエーション	第1部 木育ワーリンピック競技「ベンザイ」を作つてみよう 第2部 バラカン「ポンッチャ」を楽しもう	200円	30人	6	5	1	9	0
2	10月20日(日)	10:00～12:30	比内公民館	ミニアメリカンドックづくり＆ニュースポーツ体験	第1部 ミニアメリカンドックづくり体験 第2部 ニュースポーツ（ラーニングディスク）	200円	18人	12	6	4	0	6
3	11月24日(日)	10:00～12:00	中央公民館	青年学級（スポーツ＆カラオケ）	スポーツの部、カラオケの部に分かれて体験	-	-	24	21	-	2	21
4	12月15日(日)	9:30～13:00	比内公民館	そば打ち体験	そば粉となご粉に水を加え、練る、延ばす、切る作業を行う体験	800円	12人	9	4	3	1	4
5	1月12日(日)	10:00～12:00	ほくしか鳴門ホール	なんでも発表会	比内支援学校児童生徒など18組の個人・団体が歌、ダンス等のパフォーマンスを披露	無料	20組	31	31	-	10	34
6	2月9日(日)	10:00～12:30	中央公民館	スイーツづくり＆音楽で遊ぼう♪	第1部 マフィンを作つて食べてみよう 第2部 いろんな楽器をたたいてみよう	200円	15人	12	5	3	0	5
							合計	94	72	16	14	79
												286

※なんでも発表会のサポートー10人には高校生ボランティア7人が含まれています。

【障がい者の活動を広げる取り組み】

No.	開催日	時間	活動場所	事業・大会名など	内容	参加者数(人)						
						定員 人 (組)	参加者 人 (組)	うち障 がい者	講師	サポー ター	スタッフ	観客
1	6月20日(木)		栗盛記念図書館	図書館利用支援事業	比内支援学校中学部3年生が38月29日に展示するための本を借用	-	-	13	9	/	/	1
2	8月29日(木)		栗盛記念図書館	図書館利用支援事業	防災・減災ブレゼンター 比内支援学校との連携（中学部3年生対象） ※持ち帰り可可能な炊き出しレシピや非常に必要な持ち物リストの作成、展示	-	-	13	9	/	/	1
3	9月27日(金)		矢立育成園体育館	みんなでスポーツの会	アキュラシー	-	-	33	33	/	12	45
4	11月19日(火)		矢立育成園体育館	みんなでスポーツの会	アキュラシー	-	-	25	25	/	12	37
5	11月23日(土) ～24日(日)	タクミアリーナ	はちくんオーブン	バスケットの普及と交流、参加50チームうち1チームは沿岸からもの招待で ボッチャ日本代表「火ノ玉JAPAN」も参加し交流を深めた。	-	-	202	27	10	71	50	333
6	2月24日(月)		比内体育館	比内公民館ボッチャ交流大会	障害者スポーツの普及と共生社会への理解と交流、参加3チーム	-	-	10	0	5	0	15
						合計	296	103	0	102	50	458

※はちくんオープンのサポートー10人には高校生ボランティア9人が含まれています。

【社会教育施設の取り組み】

①みんなのアート展

開催日	内容等	実施場所	備考
11月9日(土)～10日(日)	とつと工房からシールアート、イメージイラスト等 作品展示40点	田代公民館	田代地区文化祭と同時開催
1月11日(土)～13日(月)	大館市手をつなぐ育成会、とつと工房からシールアート、イメージアート、イメージイラスト等 作品展示60点	中央公民館	1/12(日)なんでも発表会と同時開催
1月22日(水)～29日(水)	とつと工房からシールアート、イメージイラスト等 作品展示68点 ※「自然と昆虫写真展」も同時開催	比内公民館	1/25(土)26(日)比内とりの市と同時開催 ※2日間の来場者は101人
2月3日(月)～7日(金)	とつと工房からシールアート、イメージイラスト等 作品展示36点	長木公民館	
2月10日(月)～20日(木)	とつと工房からシールアート、イメージイラスト等 作品展示104点	上川沿公民館	2/16(日)春を呼ぶ音楽祭と同時開催
2月25日(火)～3月3日(月)	とつと工房からシールアート、イメージイラスト等 作品展示33点	駿郷内公民館	

②比内公民館と比内支援学校との連携事業

開催日	事業名	実施場所	参加人数	備考
1月7日(火)	新春書初め会で使用する色板（色紙サイズ240mm×270mm）30枚を比内支援学校高等部2年生木工班に制作していただいたこと	比内公民館	小・中学生 11人 一般 16人	杉板を比内公民館で購入し研磨や張り合わせなどの加工
8月2日(金)	障がい者サポート一養成講座	中央公民館視聴覚ホール	うち同意書22人	福祉課、障害者自立・差別解消支援協議会との連携

◇支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催

開催日	事業名	活動場所	参加人数	備考
12月26日(木)	「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会	秋田県生涯学習センター	2人、	鷲田係長、山田主事が参加し大館市の取り組みをPR

講座実施報告書

令和6年9月22日

講座名	木育&レクリエーション		
開催日時	令和6年9月22日（日） 10時00分～12時00分		
開催場所	下川沿公民館 会議室、講堂	講師名	木育：安保和美、酒井和彦、酒井靖子 ボッチャ：青柳正隆、大澤睦子
参加者数	22人（うち障がい者5人）		
実施内容	<p>『事前準備』 参加者数を講師へ報告</p> <p>『当日準備』 削り粉等でテーブルが汚れないよう新聞紙を敷き、紙やすりを使いやすいサイズにカット、ボッチャ用具の準備、受付準備</p> <p>第1部 木育：木のパズル「バンザイ」を作ってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課長あいさつ、講師紹介 ②本日のスケジュールを説明（木のパズル「バンザイ」制作→ボッチャ体験） ③紙やすりですべすべな触り心地になるまで木を磨く ④磨き終えたら乾いたタオルで細かい粉を拭きとり完成 <p>第2部 レクリエーション：パラリンピック競技の「ボッチャ」を楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講師紹介 ②講師から投げ方やルール、ゲームのコツなどを説明 ③参加者、サポーター、スタッフでチーム編成しながら体験 <p>『まとめ』 講座の感想発表、アンケートの記入を行い、終了</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表では「楽しかった。」との発言があった。 ・参加者は「もっとつるつるにする、光るまで磨く」と熱心に木のパズルを作っていた。 ・ボッチャ経験のない方もいたが、参加者はみんな上手であった。 ・ボッチャでは初対面同士でチームを構築したが、チーム内で役割・作戦を決め、楽しそうに挑戦する姿が見られた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者だけでなく一般の方の参加者を増やす工夫が必要である。 ・市広報や市ホームページ、新聞での周知が図れなかった。 		

木育&レクリエーション



講座実施報告書

令和6年10月20日

講座名	ミニアメリカンドッグづくり＆ニュースポーツ体験		
開催日時	令和6年10月20日（日） 10時00分～12時30分		
開催場所	比内公民館 調理室、講堂	講師名	ミニアメリカンドッグ：小笠原哲子、小玉紀菜美 ニュースポーツ：高橋紀子、奈良一博
参加者数	22人（うち障がい者6人）		
実施内容	<p>『事前準備』</p> <p>材料の買い出し、参加者数を講師へ報告</p> <p>『当日準備』</p> <p>調理台等消毒、材料分量計測、たこ焼き機・ホットプレート準備、ラダーゲッター・フライングディスク用具の準備、受付準備</p> <p>第1部 ミニアメリカンドッグづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課長挨拶、講師紹介 ②本日のスケジュールを説明（ミニアメリカンドッグ、ニュースポーツ） ③ソーセージを切る、生地作り、焼き、盛り付け、完成 ④試食 <p>第2部 ニュースポーツ体験（ラダーゲッター、フライングディスク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講師よりラダーゲッター、フライングディスク（アキュラシー）の説明 ②時間になるまでそれぞれに分かれ自由に体験 <p>『まとめ』</p> <p>講座の感想発表を行い、終了</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表では「ミニアメリカンドッグおいしかった。また参加したい。」という声があがつた。 ・ニュースポーツでは、初めて見る「ラダーゲッター」に参加者は興味津々であった。 ・コツをつかんだ参加者が周りにアドバイスしている姿が見られた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・調理以外の講座でも参加者を増やすよう周知方法等見直しする必要がある。 ・参加者のうち障がい者のリピーター以外の新たな参加者を増やす工夫が必要である。 		

ミニアメリカンドッグづくり＆ニュースポーツ体験



講座実施報告書

令和6年11月24日

講座名	比内支援学校 第162回青年学級
開催日時	令和6年11月24日（日） 10時00分～12時00分
開催場所	中央公民館第1研修室、視聴覚制作室、視聴覚ホール、体育館
参加者数	47人（青年学級21人、保護者3人、サポーター2人、スタッフ21人）
実施内容	<p>『事前準備』</p> <p>カラオケ：タブレットとモバイルWi-Fi（2セット）→生涯学習課で準備 音響関係→中央公民館から借用</p> <p>ボッチャ：ボッチャ用具、コート（2セット）→比内支援学校で準備</p> <p>『当日打合せ』</p> <p>9:00 比内支援学校及び生涯学習課職員の顔合わせや当日のスケジュール確認</p> <p>9:30 受け付け</p> <p>『講座開始』</p> <p>10:00 始まりの会（第1研修室）司会：同窓生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール等説明 <p>10:05～10:55 グループ別活動①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A班（カラオケ）→視聴覚制作室、視聴覚ホール ・B班（ボッチャ、バドミントン、バスケットボール）→体育館 <p>11:00～11:50 グループ別活動②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A班（ボッチャ、バドミントン、バスケットボール）→体育館 ・B班（カラオケ）→視聴覚制作室、視聴覚ホール <p>11:55 終わりの会（第1研修室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を聞く ・生涯学習課 畠山課長から一言 <p>12:00 終了</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表では「楽しかった。また参加したい。」という声が挙がった。 ・カラオケも楽しそうに歌っていた。 ・青年学級でもカラオケは人気が高く参加者が多く集まるので、今後の講座づくりの参考にしていきたい。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケは参加者がひと通り歌うことが出来たが、2曲目についてみんなが歌いきることが出来なかつた。もう少し時間があれば良いと感じた。 ・カラオケだけだと参加者の自己満足で終わってしまい交流が図れないので、引き続きカラオケ以外も取り入れていきたい。

比内支援学校 第162回青年学級



講座実施報告書

令和6年12月15日

講座名	そば打ち体験		
開催日時	令和6年12月15日（日） 9時30分～13時00分		
開催場所	比内公民館調理室	講師名	田村徳秋、田村千秋
参加者数	17人（うち障がい者4人）		
実施内容	<p>『事前準備』 参加者数を講師へ報告、田代公民館からそば打ちセットの借用</p> <p>『当日準備』 そば打ち道具の準備、そば粉の仕分け、受付準備</p> <p>『講座開始』</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課長あいさつ、講師紹介 ②本日のスケジュールを説明 ③講師がひと通り説明（①水回し②こね③延し④たたみ⑤切り）を交えながら切りの作業まで行った。 ④打ち終わったそばをゆでて試食した。 ⑤使用した道具や鍋、どんぶりなどを洗うなど片付け作業 <p>『まとめ』 講座の感想発表を行い終了</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・水回しから切り作業まで、集中力と根気が必要とされる作業も楽しみながら体験していた。 ・親子で参加することにより和気あいあいとした雰囲気があった。 ・参加者同士の会話や道具の共有もあり、交流も生まれつながりの構築ができたのではと感じている。 ・今回参加した方々はなんでも発表会にも参加する予定で、次の講座にもつながるものとなった。 ・講師だけでなくサポーターの協力もあり、今後の講座等へのつながりが大きかった。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・こねの工程など力のいる作業があり障がい者だけでは困難な部分があるので親子参加やサポーターの協力を増やしていく必要がある。 		

そば打ち体験



講座実施報告書

令和7年1月12日

講座名	なんでも発表会
開催日時	令和7年1月12日（日） 10時00分～12時00分
開催場所	ほくしか鹿鳴ホール中ホール
参加者数	158人（参加者31人、サポーター10人、スタッフ34人、観客83人）
実施内容	<p>○ねらい （1）大きなステージで歌ったり、踊ったりする夢を実現することで、その場を十分に楽しんだり、自信を得たりして潤いのある生活にする。 （2）大館市の目指す、障がいのある人と障がいのない人の望ましい共生社会の一助に資する。</p> <p>○打ち合わせから発表会までの日程</p> <p>11月 1日 白沢通園センター（就労B施設）、泉町地域福祉センターへ事業説明（訪問）→なんでも発表会の参加募集PR動画（佐藤正好コーディネーター同行）</p> <p>11月 7日 第2回生涯学習連携協議会終了後協力者打合せ</p> <p>11月 22日 比内支援学校事業説明（訪問） なんでも発表会のPR動画（佐藤正好コーディネーター同行）</p> <p>12月 23日 参加者ボランティア体制、全体の流れの確認打合せ</p> <p>1月 12日 スタッフ、サポーター等打合せ</p> <p>○事業内容 比内支援学校生徒や障がい者就労支援施設等から18組・31人の個人・団体が参加し、歌やダンス等のパフォーマンスを披露しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部「なんでも発表会」 発表者（歌12組13人、ダンス4組13人、手品1組2人、楽器演奏1組1人、合計18組29人） ・スペシャルタイム クイズ大会1組1人、ピアノ演奏1組1人 ・第2部「みんなのコーナー」 出場者全員による歌、ダンス

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・のど自慢形式で行い、大きなステージで歌ったり、踊ったりする夢を実現することで、その場を十分に楽しんだり、自信を得たりして潤いのある生活にすることや障害者との交流する機会を提供することで相互理解を深め、心のバリアフリーや合理的配慮を学び、共生社会の実践へつなげることが出来た。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士のつながりの構築 ・比内支援学校の中高生が参加しているが、今後の活動にどのようにつなげていけるか。



なんでも発表会



なんでも発表会



講座実施報告書

令和7年2月9日

講座名	スイーツづくり&音楽で遊ぼう♪		
開催日時	令和7年2月9日（日） 10時00分～12時30分		
開催場所	中央公民館 調理室、視聴覚制作室	講師名	スイーツづくり：小山久美、早川加奈子 音楽で遊ぼう：田口諒也
参加者数	20人（うち障がい者5人）		
実施内容	<p>『事前準備』</p> <p>スイーツづくり材料買い出し、参加者数を講師へ報告</p> <p>第1部 スイーツづくり（マフィンを作って食べてみよう）</p> <p>『準備』</p> <p>調理台等消毒、材料分量計測、受付準備</p> <p>『開始』</p> <p>①講師紹介</p> <p>②本日のスケジュール等を説明（スイーツづくり、音楽で遊ぼう）</p> <p>③ホットケーキミックス、バター、牛乳、砂糖、卵を混ぜ、碎いた板チョコを加えさらに混ぜる</p> <p>④マフィン型に入れオーブンで焼き、焼きあがったら試食</p> <p>第2部 音楽で遊ぼう♪（いろんな楽器をたたいてみよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師のピアノ演奏に合わせて、太鼓、ギター、ドラム、タンバリン、マラカスなどリズムをとついろいろな楽器を叩いて遊んだ 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・マフィンづくりは参加者同士、家族で協力し楽しみながら作業をしていた。 ・参加者が好きな楽器を選んで自由に弾いたり叩いたり楽しんでいた。 ・初めて参加した親子がいて「今後もこのような講座があったら参加したい。」と話していた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加した保護者より参加募集方法についてLINEなどSNSを活用してほしいとの意見があったので、SNSの活用を前向きに検討したい。 ・今回、当日キャンセルはいなかつたが、雪による天候不良や感染症の流行時期でもあるので、開催時期を検討する必要がある。 		

スイーツづくり & 音楽で遊ぼう♪



《障がい者の活動を広げる取り組み》

○図書館利用支援事業（6/20、8/29 栗盛記念図書館）



○みんなでスポーツの会（9/27、11/19 矢立育成園体育館）



○はちくんオープン（11/23-24 タクミアリーナ）



《社会教育施設の取り組み》

○みんなのアート展（中央公民館、5地区公民館）



○比内公民館と比内支援学校との連携事業（1/7 新春書初め会）



○支援者を対象としたボランティア養成講座の開催（8/2 障がい者サポーター養成講座）



○秋田県との連携事業（12/26 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会）



☆今年度の成果と課題、来年度の事業実施について

○令和6年度 研究の成果と課題

《成果》

○障がい者のニーズ調査と講座企画の反映

- ・就労施設及び比内支援学校青年学級に対し、ニーズ調査を実施し、講座企画へ反映させることができた。

○生涯学習開催講座

- ・活動を通じて、参加者と講師、サポーターや協力職員との会話による交流や調理器具の共用による協力を自然に行いみんなで楽しむことができた。
- ・職員や講座の参加者とハイタッチやコミュニケーションすることにより交流も生まれている。
- ・数名であるが、一般の方も参加しており障がい者との交流も生まれている。
- ・サポーター養成講座参加者も講座へ参加し、支援していただいた。
- ・参加者の中には、積極的に体験しない方もいたため、声掛けして、参加を促した。強制的にならないよう配慮することが気を遣うところを感じた。

○なんでも発表会の開催

- ・参加者は、1つの目標にもなってきている。令和5年度「なんでも発表会」の終了時点で参加の意思を示す参加者もあり、令和6年度の開催に期待を寄せていた。
- ・第2回目となった「何でも発表会」は成功裏に終わり、手作り感満載の「のど自慢」といった形のイベントであるが、参加者から「充実した機会となった。みんなの前で歌えて楽しかった。」などの声があった。
- ・司会進行、協力スタッフ、審査員、連携協議会委員、サポーター養成講座の参加者、これまで関わった方、高校生ボランティアなど、多くの方が協力してくださっており、参加者との交流もあり共生社会への構築につながっている。
- ・なんでも発表会へ参加する相談で、生涯学習課へ直接電話するようになったこと。生涯学習課職員と積極的にコミュニケーションをとるようになった。昨年度までは見られなかったことである。
- ・参加者はこの日のために練習を重ねている。緊張している中で、頑張って披露できること。練習の成果を發揮したことに満足した表情が窺えた。審査員からは、みんなの頑張っている姿を見て逆に元気をもらった。という意見や観覧し

ている方々もペンライトや応援グッズを持ち寄り応援する姿も見受けられ、会場を盛り上げていた。

○比内公民館の取り組み

- ・比内支援学校との連携
 - 日程調整が難航したため、予定通りの取り組みができなかった。
 - ・障がい者福祉サービス施設との連携による「みんなのアート展」の開催
 - 11月9日～3月3日 中央公民館・地区公民館での巡回展開催（6施設）
 - 大館市内へ広く、作品の発表の場を設けることができた。参加者の自信へとつながる取り組みとなつた。

○障がい者の活動を広げる取り組み

- ・栗盛記念図書館と比内支援学校との連携
- ・パラスポーツの普及と交流
- ・みんなでスポーツの会開催

○障がい者サポーター養成講座の共催

- ・福祉部門（大館市障害者自立・差別解消支援協議会）との連携による開催
 - 8月2日（金）中央公民館 72人参加（うち22人から同意）
 - 受講者より生涯学習講座情報の提供同意書を得ることができた。
 - ボランティアとして各講座チラシ等の案内送付

○「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会

- ・大館市より2人の職員が参加し、大館市の障がい者生涯学習事業の取り組みを紹介する機会を得られた。
 - 参加者からの反応、成果等
 - ・「なんでも発表会」への参加意思（北秋田市在住者）
 - ・他団体との交流、今後の事業連携のつながり

《課題》

○講座参加者同士のつながりの構築

- 参加者同士を支援者（サポーター）が交流の糸口を作る。
 - なんでも発表会の参加を通じて、リピーターを増やしていく。
- なんでも発表会には、比内支援学校の中高生が参加しており、今後の活動にどのようにつなげていけるかが、課題となっている。
- 講座の参加に障がいのない方にも一緒に参加してもらう取り組み

中央公民館、地区公民館の講座に障がい者も入れ、講座を開催する。

○社会教育施設における障がい者が参加できる講座企画

→ 中央公民館、地区公民館との連携強化

○障がい者サポート養成講座受講者中、生涯学習講座の情報提供についての同意書

提出者が講座へ参加する取り組みを今後も継続していきたい。

→ 情報提供の継続的発信。サポートだけでなく、一緒に活動する体験を通じた障がい理解につなげる。

→ サポーターは今年度講座参加者7人、高校生7人の参加があった。

※ 徐々にではあるが、各講座、なんでも発表会に参加している。この部分は、継続して拡大させることも考慮していく。

○令和7年度 事業実施について

《今後の見通し》

- ・障害福祉事業と連携することができていることから、継続して関わることで事業の継続性や拡大推進が図られると考える。
- ・生涯学習事業を、中央公民館をはじめとした公民館事業につなげ、各地区に居住する障がい者が公民館を気軽に利用できる、つながる活動に展開していくことで共生社会の実現につなげることができる。
- ・社会教育施設及び文化施設を活用して、障がい者が生涯学習に参加する取り組みは継続できている。今後は、障がい者が自発的に取り組むもの、学びとして必要と思われるものを提案して、声を生かすために必要な信頼関係を構築しながら、官民協働により持続可能な方策を図り、事業を展開する。
- ・障がい者が住みやすいまちづくりは、誰にとっても住みやすいまちと考えるため、本事業を通じて共生社会の実現に寄与できると考える。
- ・地域連携コンソーシアムの開催（秋田県との連携）、コンファレンスを実施（北秋田市、能代市と連携した実践発表会等）
 - 令和7年度都道府県のリーダーシップ、普及啓発、他分野等へ広げるための成果発表等

大館市生涯学習連携協議会 構成員名簿

令和6年7月1日現在

○委員

No.	機関・団体名	職	氏名
1	大館市福祉部福祉課	課長	桜庭 蘭子
2	大館市観光交流スポーツ部スポーツ振興課	課長	工藤 史尚
3	秋田県教育庁北教育事務所 指導・社会教育班	主任社会教育主事	櫻庭 直
4	秋田県立比内支援学校	校長	伊藤 登美子
5	秋田県立大館鳳鳴高等学校	副校長	銭谷 真理子
6	秋田県立大館桂桜高等学校	校長	中田 善英
7	秋田県立大館国際情報学院高等学校	校長	奈良 一崇
8	秋田県立大館少年自然の家	所長	佐藤 勇一
9	一般財団法人大館市文教振興事業団	栗盛記念図書館 館長	坂上 隆義
10	社会福祉法人大館市社会福祉協議会	事務局次長	佐藤 美紀子
11	社会福祉法人大館圏域ふくし会	施設長補佐	佐々木 真之介
12	大館市身体障害者協会連合会	会長	畠山 安彦
13	大館市手をつなぐ育成会	会員	藤田 律子
14	特定非営利活動法人共生センターとつと工房	とつと工房前田野 事業所 管理者	菊地 俊策
15	特定非営利活動法人ハートランドひまわり	理事長	堀口 忠彦
16	特定非営利活動法人工房JOYさあくる	理事長	鈴木 千里
17	一般財団法人大館市スポーツ協会	理事	花岡 郁男
18	スポーツコミッショング大館	事務局次長	田村 哲也

○コーディネーター

19	特別支援教育アドバイザー		佐藤 正好
----	--------------	--	-------

○連携施設

20	大館市教育委員会中央公民館	館長	外館 志
21	大館市教育委員会中央公民館	係長	篠村 裕紀
22	大館市教育委員会中央公民館	主任	一関 留美子
23	大館市教育委員会比内公民館	係長	根本 貢

○生涯学習課

事務局	大館市教育委員会生涯学習課	課長	畠山 慶子
	大館市教育委員会生涯学習課	課長補佐	羽沢 秀則
	大館市教育委員会生涯学習課	係長	嶋田 昌歌
	大館市教育委員会生涯学習課	主事	山田 拓海

○資料

令和6年度

障がい者の方の

生涯学習講座



社会教育施設を
利用してみよう♪

クレープづくり & 音楽で遊ぼう

第1回

参加費
200円

とき 8月25日(日)
10時～12時30分
ところ 比内公民館
定員 18人(組)
10:00～11:30 クレープづくり
試食&おしゃべりタイム
11:30～12:30 音楽で遊ぼう♪

第5回

参加費
800円

そば打ち体験

とき 12月15日(日)
9時30分～13時

ところ 比内公民館

定員 6人(組)



木育講座 & レクリエーション

第2回

参加費
200円

とき 9月22日(日)
10時～12時
ところ 下川沿公民館
定員 30人(組)
10:00～11:00 木のパズル「パンザイ」
を作ってみよう
11:00～12:00 ポッチャを楽しもう

第6回

参加費
無料

なんでも発表会

とき 1月12日(日)
10時～12時

ところ ほくしか鹿鳴ホール

定員 20人(組)



参加者の歌やダンスを審査員が審査して表彰します。クイズ、よさこい演舞などのスペシャルタイムもあります。

ミニフランクづくり&レクリエーション

第3回

参加費
200円

とき 10月20日(日)
10時～12時30分
ところ 比内公民館
定員 18人(組)
10:00～11:30 ミニフランクづくり
試食&おしゃべりタイム
11:30～12:30 運動やゲームを楽しもう

スイーツづくり & 音楽で遊ぼう

とき 2月9日(日)

10時～12時30分

ところ 中央公民館

定員 15人(組)



10:00～11:30 スイーツづくり
試食&おしゃべりタイム
11:30～12:30 音楽で遊ぼう♪

スポーツ・カラオケ

第4回

参加費
無料

とき 11月24日(日)
10時～12時
ところ 中央公民館
定員 30人
10:00～10:30 ワークショップ
10:30～12:00 スポーツ、カラオケ



★受付は各講座開催日の1カ月前から開始します。

受講を希望される方は各講座のチラシをご覧ください。
なお、定員になり次第受付を終了させていただきます。

★ボランティア希望の方は二次元コード、
電話、メールのいずれかでお申込みをお願いいたします。



お申込み・お問合せ先：大館市教育委員会生涯学習課

☎ 0186-43-7113 Eメール:gakusyu@city.odate.lg.jp

令和6年度

障がい者のための 生き滋味

ご案内

Vol. 1

第1回

クレープづくり



講師 小笠原哲子さん

音楽で遊ぼう♪



講師 田口 謙也さん

第2回

木育講座



講師 木育インストラクター

レクリエーション



講師 大館市ボッチャ協会指導員

前半は木のパズル「バンザイ」を作り、後半はパラリンピック競技のボッチャで楽しめましょう。



★日 時：8月25日(日) 《日程》

★場 所：比内公民館 10:00～11:30
クレープづくり

★参加料：200円 11:30～12:30
試食、おしゃべりタイム 音楽で遊ぼう♪

★定 員：18人(組)

★持ち物：エプロン、三角巾、おしり、飲み物
さんかくきん



★日 時：9月22日(日) 《日程》

★場 所：下川治公民館 10:00～11:00
木のパズル「バンザイ」

★参加料：200円 11:00～12:00
を作つてみよう
パラリンピック競技の

★定 員：30人(組)
「ボッチャ」を楽しもう

★持ち物：内ズック、飲み物

【お申込み・お問合せ先】大館市教育委員会生涯学習課

TEL:0186-43-7113 Mail:gakusyu@city.odate.lg.jp

※お申込みは各講座の二次元コードからも可能です。

令和6年度 障がい者の方の生涯学習講座

ミニアメリカンキャンプースポーツ & ドッヂグングugi

令和6年度 障がい者の方の生涯学習講座

Vol.2

ミニアメリカンキャンプースポーツ & ドッヂグングugi

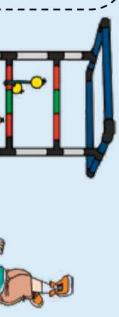
10:00~11:30 10月20日(日)
講師：小笠原 哲子さん

講師:SCひない 高橋紀子さん



たこ焼き器にホットケーキミックスを流し、魚肉ソーセージなどをトッピングし焼きあがつたら串に刺して完成です。

会 場：比内公民館
定 員：18人(組)
参 加 料：200円
持ち物：エプロン、三角巾、内ズック



ラダーゲッター

ヒモでつながっている2個のボールをラダー(ハシゴ)に向かって投げ得点を競う誰でも気軽にできるレクリエーションです。

フライングディスク
プラスチック製の円盤状ディスクを投げる種目で障がい者スポーツ大会も行われていて、12種目の競技があります。



ボランティア希望の方
はこちら！



«申込み・問い合わせ先»
大館市教育委員会 生涯学習課

TEL: 43-7113 FAX: 54-6100
e-mail: gakusyu@city.odate.lg.jp

参加希望の方
はこちら！



そば打ち体験講座

ご案内
Vol.3

12月15日(日)

9:30~13:00

ところ 比内公民館調理室
講 師 田村徳秋さん



そば粉とつなぎ粉に水を加え、練って・伸ばして・切る作業を行い、できあがったそばはゆで温かい出汁をかけていただきます。



参 加 費：1人800円
定 員：先着6組(12人)
持ち物：エプロン、三角巾、ふきん

ボランティア希望
の方はこちら！



«申込み・問い合わせ先»

大館市教育委員会 生涯学習課
TEL: 43-7113 FAX: 54-6100
e-mail: gakusyu@city.odate.lg.jp



令和6年度 障がい者の方の生涯学習講座

ご案内
Vol.4

なんでも発表会

ご案内
Vol.3

～今 君は ほくしか鹿鳴ホールの
ステージで スターになる！～

障がいのある方が、大きなステージで歌ったり、踊ったりする、演奏したりする『なんでも発表会』を開催します。歌やダンス、楽器演奏など、自分の得意を発表して、毎日の生活をイキイキさせてみませんか。参加してください方を募集します。

参加・観覧ともに無料です！

会 場：ほくしか鹿鳴ホール 中ホール

会 時 間：10時～12時
程：第1部 発表会、スペシャルタイム

第2部 みんなのコーナー
定 員：20人(組)

発表時間：1組 1分～1分30秒程度
申込締切：11/29(金)午後5時まで

※音源(CD)のご用意をお願いします。

※音源確認のため 12月に提出していただきます。

2025
1/12
(日)



「申込み・問い合わせ先」
大館市教育委員会 生涯学習課
TEL: 43-7113 FAX: 54-6100
e-mail: gakusyu@city.odate.lg.jp

ボランティア希望
の方はこちらへ



アイリー アヅクリ & 音楽

ご案内
Vol.3

音楽で遊ぼう♪

2/9(日) 10:00-12:30

会 場 中央公民館

参 加 料：200円

持ち物：エプロン・バンダナ
おしぼり



10:00-11:30

マフィンを作つて食べてみよう

11:30-12:30

いろんな楽器をたのいてみよう



「申込み・問い合わせ先」

大館市教育委員会 生涯学習課
TEL: 43-7113 FAX: 54-6100
e-mail: gakusyu@city.odate.lg.jp

ボランティア希望
の方はこちらへ



第8次大館市社会教育中期計画 (令和6年度～令和9年度)

こども・おとなが共に学び合うひとづくり



目指す姿

ふるさとに誇りをもち
共に学び合いができるひと

自分をまちづくりに生かし
つながりをつくることができるひと

生涯を通じて共に
学び合うことができるひと

郷土の誇りを
守り伝えるひと



～地域に根ざしたカエルビーチングを目指して～

計画の策定の趣旨

社会教育計画は、生涯学習の理念※1の実現を目指し、社会教育※2に関する施策を体系的にかつ計画的に推進するために策定するものであります。大館市教育委員会では、第2次新大館市総合計画後期基本計画における関係分野の施策推進のため、大館市の社会教育の指針となる第7次大館市社会教育中期計画を策定し、計画目標達成のため、重点目標・施策を定め社会教育の推進に努めてまいりました。第7次の計画が令和5年度まで終了したことから、国や県の動向、人口減少や高齢化の進行によるライフスタイルの変容、第7次計画に基づく社会教育の評価と課題を踏まえ、向こう4年間ににおける本市社会教育の指針を定めるとともに、具体的な施策の方向性を示すため「第8次大館市社会教育中期計画」を策定するものです。

※1 生涯学習の理念

国民一人人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるように、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。(教育基本法第3条)

※2 社会教育

社会教育法では、学校の教育過程として行われる教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)をいう。と定義している。

計画の位置づけと期間

この計画は、大館市総合計画(おおだて未来づくりプラン)を上位計画とする個別計画です。社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号)第3条に規定された地方公共団体の任務を果たし、同法第5条の市町村教育委員会の事務の内容の具現化を目指すものです。

本計画の期間は、令和6年度から令和9年度までの4年間とします。

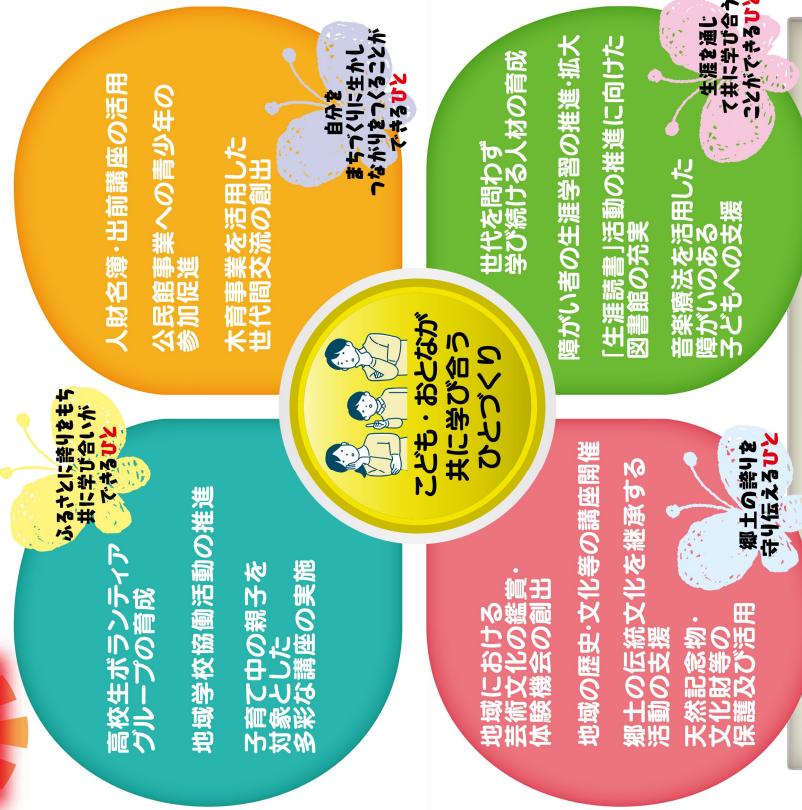
具体的な

ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援 ～地域に根ざしたワエルビービングを目指して～



基本目標

ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援 ～地域に根ざしたワエルビービングを目指して～



市民版ふるさとキャラリア教育・学習の推進

ふるさどに根ざし、
大館の未来を切り開く「人財」の育成



ふるさとで誇りをもち共に学び合いができるひと

主な取り組み

- 高校生まちづくり会議「HACHI！」事業**
 - 高校生まちづくり会議「HACHI！」の活動において、NPO法人や企業等との協働による若者を中心とした事業を開催します。

具体的施策

- 地域学校協働活動推進事業**
 - 地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援します。
- 家庭教育推進事業**
 - 小中学校生への大館ふるさとキャラリア教育を支援します。

- 家庭教育推進事業**
 - 子育て中の親子を対象とした多彩な講座の実施

郷土の誇りを守り伝えるひと

主な取り組み

- 芸術文化鑑賞・体験事業**
 - 芸術文化の鑑賞機会のさらなる充実を図るほか、開催情報を学校・文化施設、関係団体へ積極的に周知し、地域における芸術文化体験の機会を創出します。
- 学術的講座等の開催事業**
 - 地域の歴史・文化の
講座開催
 - 文化財や歴史・自然などについて、周辺市町村と連携した各種講座を開催し、学びの機会を提供するほか、情報発信の充実により、「大館の宝」の価値を伝え、子どもたちが歴史文化を学ぶ機会を提供します。
- 郷土芸能等保存活動支援事業**
 - 郷土の伝統文化を
継承する活動の支援

具体的施策

- 天然記念物の保存事業、埋蔵文化財企画展等**
 - 地域の郷土芸能や文化財保護活動を継承するほか、郷土芸能の記録保存等を進めています。

- 二ホンザリガニの生息地や長走風穴高山植物群落、秋田三鶏などの文化財の保護や鳥湯会館の国指定文化財に向けた調査により保存と活用を図ります。**
 - 大館市内の埋蔵文化財に関する講座や企画などを定期的に開催し、保護の重要性の啓発を行います。

施 策 の 展 開

自分をまちづくりに生かし、つながりをつくることができるひと

具体的施策

●生涯学習講座（達人講座、出前講座）事業

入館名簿・出前講座の充実
(知の循環型社会)

達人講師では、教える人材の掘り起こしを行い、新規に講座開設の充実を図ります。

様々な分野での指導者の育成、確保のため、人財名簿の充実を図ります。

市の制度や新規事業等への理解を深めてもらうため、出前講座の充実、強化を図ります。

●社会教育講座事業等

公民館事業への青少年の参加促進につながるよう、小中学生が趣味を持つようなプログラムの提供や講師、指導者の確保に努め、身近で楽しめるある公民館運営を目指します。

●木育推進事業

移動型木育広場の展開や定期的な木育事業を実施することにより、乳幼児から高齢者までの幅広い世代間交流の機会創出を図ります。

生涯を通じて共に学び合うことができるひと

具体的施策

●幅広い年齢層に対する学び直し事業（大館学び大学事業、大学校・大学公開講座含む）

市民のニーズを活かす講座である大館学び大学事業のほか、大学・企業連携による講座内容を充実させることにより、受講者数の掘り起こしを図ります。

地域の高等教育機関との連携により専門性の高い公開講座を開催します。

●障がい者の生涯学習事業

障がい者の生涯学習の推進・拡大

障がい者の講座ニーズを把握し、生涯学習の促進・拡大に努めるとともに、共生社会の実現に努めます。

●図書館運営事業

「生涯読書」活動の推進に向けた図書館の充実

「生涯読書」活動の推進のため電子図書を導入し、図書館サービスの向上を図ります。また、複数障がい者の読書環境を整備するため、大活字本や点字図書、レジックなど図書の充実に努めます。

●音楽療法士派遣事業

音楽療法を活用した障がいのある子ども等への支援

児童から小中生までの発達障がいのある子ども等に対し、言葉療法士を派遣し、言葉のコミュニケーション等の改善が図れるよう事業を推進します。

成 果 指 標 (KPI) — 覧

No	指標名	現状年度	R6	R7	R8	R9	目標値	目標値達成方法など	担当課
単位	人	人	人	人	人	人	人	人	
1	社会人の学び直しの受講者数	R4	288	800	900	1,000	1,100	1講座20人を目標 (満席規模平均)	生涯学習課
2	障がい者の生涯学習講座数	講座	R4	6	7	7	8	8 障がい者R9年度までに1講座ずつ 8講座	生涯学習課
3	生涯学習講座受講者数(大学公開講座、達人講座、出前講座)	人	R4	6,500	6,700	6,800	6,900	7,100 R9年度までに4講座 余々に増やしR9年度まで10%超	生涯学習課
4	社会教育講座	講座	R5	0	1	2	3	4 R9年度までに1講座 余々に増やしR9年度まで10%超	中公民館
5	家庭教育推進事業（おしゃべりひろばひにまり）、子育て講座） 家庭教育推進事業（おしゃべりひろばひにまり） 参加者数	人	R4	1,767	1,850	1,900	1,950	2,000 毎年11月ずつ贈ります	生涯学習課
6	木育事業の回数	回	R4	26	27	28	29	30 現状維持	歴史文化課
7	郷土芸能を発表する団体数	団体	R4	11	11	11	11	11 令和9年度までに3回開催	歴史文化課
8	埋蔵文化財の企画展等開催数	回	R5	1	2	2	3	3 令和9年度までに3回開催	歴史文化課



◆中期計画に使われている言葉の意味

◆これから生涯学習は

第7次計画及び第6次計画においては、「知識型社会」の実現をめざし、地域づくりや地域の教育力向上を図りながら人財力を行つてきました。
今後4年間（令和6年度～令和9年度）の生涯学習の推進計画です。
生涯学習の方向性や子どもたちのために同時に、重点施策と具体的な施策を明確にし「ふるさとの誂りと未来を育む生涯学習社会」の実現を目指したいと考えています。

◆ウェブリーニングとは

その人が「幸せで満ち足りた状態」であり、人によって感じ方が違う主観的幸福感です。

◆社会教育中期計画とは

今後4年間（令和6年度～令和9年度）の生涯学習の推進計画です。
生涯学習の方向性や子どもたちのために同時に、重点施策と具体的な施策を明確にし「ふるさとの誂りと未来を育む生涯学習社会」の実現を目指したいと考えています。

◆中期計画に使われている言葉の意味

◆「知識型社会」とは

学んだことや持っている知識や技術、経験を地域や子どもたちのために適切に生かすことができる社会のことです。教育基本法第3条に「生涯学習の理念」として規定されています。

◆生涯学習の理念（教育基本法第3条 摘抄）

「国民一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる社会の実現が図られるなければならない。」

◆つながりづくりとは

人と人、人と地域、学校と地域、そのつながりをつくることが地域づくり、地域の教育力向上による土台となることを指します。公民館活動への参加、世代間交流活動、地域活動への参加、学校の連携・協働体制構築事業などによって実現されます。

◆大館ふるさとキャリア教育とは

ふるさとに生きる裏話を語る「ふるさと教育」とその裏話の上に自らの人生の指針を描く「キャリア教育」を融合した本市独自の教育理念です。ふるさとに根ざし、大館の未来を切り開く人材を育成することを目的としています。

◆高校生まちづくり会議「HACHI！」とは

公民館を中心とした活動として、各高校の生徒が参加する高校生まちづくり会議「HACHI！」があります。これは、仲間と協力し公民館員がサポーターシンガから、地域・家庭と繋がりながら地元の活動を實施し、人々つながりと地域の活力を養うことを目的としています。

◆共生社会とは

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかつた障がい者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相手に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。このよろづな社会を目指すことは、我が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である。

※ 平成24年共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（中央教育審議会初等中等教育文科会報告）より抜粋

◆障がい者の生涯学習とは

「障害者差別解消法」（H28.4月施行）は、障がいのある人もない人も、互いにそのへらしさを認め合う人が、誰でもどこでもまちべる生涯学習をめざします。この法律の施行に伴い、「学びたい」という意欲のある人が、誰でもどこでもまちべる生涯学習をめざします。

◇各公民館の主な事業

公民館名	主な事業等	連絡先
1 中央公民館	高校生まちづくり会議「HACHI」、わんぱくスクール、老挝大学	42-4369
2 新迦内公民館	温故知新の会、相撲慶农业大学	43-7117
3 長木公民館	女の教室、長寿学級 訓つき交流会	43-7118
4 雪沢公民館	地区運動会、ミニカーラー大会	42-0836
5 下川治公民館	料理教室、地区対抗野球大会、健康教室、春をよぶ音楽祭、ボウリング大会 ボッチャ競技振興事業、ロイヤル学級（高齢者学級）、川口獅子踊り、小林多喜二等地域の伝統文化や偉人等に着目した事業の展開	49-0271
6 真中公民館	ひまわり事業、鮮稚魚放流事業	49-5928
7 二井田公民館	公民館交流サロン、「全國対抗スボーツ大会、分館事業の充実」（鎌神社「忠犬ハチ公」「安藤昌益」）を学ぶ懇親会の創出 二井田三大魅力	49-4121
8 十二所公民館	三世代交流会、ミニカーラーの集い	43-7123
9 花岡公民館	ボッチャ大会、健康教室、十二所地区駅伝大会、花岡公民館沿待学童野球大会	43-7124
10 矢立公民館	矢立地区ボッチャ大会、公民館まつり連続敬老会、健やか教室、矢立町散策会	43-7125
11 比内公民館	あおぞら学園（高齢者学級）、星空観望会、ボッチャ交流大会、分館対抗スボーツ大会、比内芸術文化祭、新春書きそめ会 分館（7館）	43-7141
12 分館（10館）	地区運動会、花いっぽい運動、ユニカール大会、住民交流会 田代公民館、カヌー体験講座、たしろ学舎	43-7126

◇各種相談窓口

担当課	主な相談内容	連絡先
1 生涯学習課	人財名簿、達入講座、出前講座、子育て講座、障がい者の生涯学習事業について	43-7113
2 中央公民館	サークル活動や公民館講座について	42-4369
3 票盛記念図書館	読書（本）や読み聞かせボランティアについて	42-2525
4 郷土博物館	郷土の自然や歴史、文化について	43-7133
5 ほくしか鹿鳴ホール	文化芸術の鑑賞について	49-7066
6 市民交流センター	木育に関するごことについて	49-7028

◇第8次大館市社会教育中期計画の策定に関わった人

大館市社会教育委員会

○阿部 之義（委員長）
○山城 久和
○佐藤 育潔
○戸田 由美子
○布袋屋 美幸
○片岡 晴子
○小笠原 豊

アドバイザー

○北教育事務所 主任社会教育主事 櫻庭 直
◆「障がい者の生涯学習とは」
秋田県大館市早口字野上3番地
TEL 0186-43-7113 FAX 0186-54-6100 Email gakusyu@city.odate.iq.jp/
ホームページ https://www.city.odate.iq.jp/



〒018-3595
秋田県大館市早口字野上3番地
TEL 0186-43-7113 FAX 0186-54-6100 Email gakusyu@city.odate.iq.jp/
ホームページ https://www.city.odate.iq.jp/

編 集 後 記

今年度、障がい者の生涯学習事業は4年目となり、参加者が楽しく気軽に参加できる講座を目指し事業を展開しました。参加者は、生涯学習課の職員と気軽にコミュニケーションをとるようになり、講座終了後、「ハイタッチ」や「楽しかった」などの感想を話せる雰囲気になっています。そして、講座にはサポーター養成講座の同意者や一般の方も参加しております。

また、2回目となった「なんでも発表会」は、連携協議会櫻庭会長はじめ、各委員の協力により成功に終わりました。高校生ボランティアとの交流もあり、共生社会への構築につながっています。

今年度はNHKのど自慢が12月8日に大館市を会場に開催されましたが、「なんでも発表会」は、手作り感満載のまさに「のど自慢」といった形のイベントとなり、参加者からは「充実した機会となった。」、「緊張したけど、みんなの前で歌えて楽しかった。」などの声があり、応援グッズなどを持ち寄り会場が一体となって応援する姿が印象的でした。

最後に、発刊にあたり、たくさんの皆様にご協力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

文部科学省委託事業
令和6年度 学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業
大館市 障がい者の生涯学習推進事業 事業報告書
令和7年（2025）年3月

編集・発行 大館市教育委員会生涯学習課
〒018-3595 秋田県大館市早口字上野43番地1
TEL：0186-43-7113
FAX：0186-54-6100
E-mail：gakusyu@city.odate.lg.jp